

令和7年11月11日（火）
午後1時30分～午後3時00分

市議会を傍聴、視聴して思うこと

○オンラインの議会中継は全体的に見やすいが、話している箇所が分かるようレーザーポインターの使い方を工夫して欲しい。また、議員が提示する資料の文字が小さかったり、スクリーンに映らなかったりすることがあるため、資料を配布するなど改善してはどうか。

→ 議員）資料を見やすくすることは、課題として認識しているが、個々の議員によって対応が異なっているため、改善策を検討していきたい。

○本会議で、議案の資料を配信していると聞くが、どこで見られるのか。

→ 事務局）本会議の資料については、ホームページ上に公開している。

→ 議員）一般質問の資料については、議員が映写することに留まることもあれば、傍聴者用に紙で配布することもあるが、個々の議員の判断によるものである。

○配信時間が長く冗長に感じられるため、A Iなどを活用して質問と答弁の要約を付けると、内容を把握しやすくなるのではないか。

→ 議員）A Iによる要約については、議会運営委員会小委員会で試作したが、まだ市民の皆様に安心して見てもらえる状態には至っていないため、今後も検証を続けていく。

○会議録がホームページに公開されるのが3～4ヶ月後と遅い。概要版でも良いので、もっと迅速に情報を公開してほしい。

→ 議員）会議録の早期公開には努めているが、現状では追いついていない状況である。

○重要なポイントを分かりやすくピックアップしたものを発信してもらえると、関心を持って見てもらいやすくなるのではないか。

○議員の質問が長すぎたり、要領を得なかったりすることがある。また、本来の質問から外れ、自身の意見や要望の表明、PR活動のようにになっている場面も見受けられる。議員研修などを通じて、質問のあり方を改善すべきではないか。

→ 議員）質問が長い議員がいることについては、議員間でも認識している。会派ごとの時間配分というルールはあるが、ルールの見直しも含め議論の価値はあると考えている。個々の議員のモラルやスキルの問題もあるが、議員間で共有し、委員会の進め方などを検討していきたい。

○市民の関心の高い議案や事業をピックアップして、市民に分かる形で提示すれば、関心を持たれやすいのではないか。

○子どもを連れて傍聴した際、飲食禁止の傍聴席で子どもを静かにさせることが難しく、周りの視線も気になり居づらさを感じた。

→ 議員）子ども連れでの傍聴は歓迎しており、決して遠慮する必要はない。周りが気になる場合は、別の場所での視聴を案内する。ただちに約束はできないが、将来的には誰もが傍聴しやすい環境を整えたい。

○傍聴席に同時通訳ブースのような小さなスペースを設けてはどうか。

○一般質問の質疑と答弁が同じ質問と同じ答弁の繰り返しに見え、実質的な前進が感じられない。質

問と答弁が噛み合わず退屈に感じられる場面が多いため、市が課題解決に本気で取り組む意思があるのか疑問である。

→ 議員) 一般質問をして終わりではなく、継続的に追跡して政策へつなげている議員も多くいる。

○傍聴席から見えるモニターの画面が小さく、表示される資料の細かい文字が読めないため、もっと大きなモニターを設置してもらいたい。

→ 議員) 設備の改善については、子ども連れの方や障害のある方など、誰もが傍聴しやすい環境を整えるという大きな課題の一部として認識している。今後の改善の参考にしていきたい。

○自分の関心があるテーマについて、キーワードで検索して関連する映像や資料をすぐに見つけられるようにしてほしい。内容をダイジェスト版にするなど、DXをもっと活用して情報発信を強化すべきではないか。

→ 議員) DXの活用による情報発信の強化は、重要な課題であると認識している。

市議会モニター制度について

○市議会モニター制度自体は良いと思うが、モニターから出た意見が実際にどのように反映されているのか分かりにくい。もっとスピーディーに改善を実行してほしい。

→ 議員) 意見を迅速に反映できていない点については、議会としても課題として認識しており、改善に努める。

○意見交換会が平日の日中に開催されるため、会社員などは参加が難しい。夜間や土日など、複数の時間帯で開催してはどうか。

○今回は、なぜ午後開催になったのか

→ 事務局) 開催時間については、特に午前・午後と決めているわけではなく、公務などと調整した結果、今回は午後となった。

○委員会などで、モニターが意見を述べられるような発言の機会があれば、よりやりがいを感じられると思う。

→ 議員) 市議会モニターにやりがいを持ってもらえるような仕組みについては、議会運営上でできることとできないことを整理しながら、今後も検討していきたい。

○インターネットを活用して市議会モニターの活動ができるのであれば、わざわざ集まる必要はないのではないか。四日市市民の誰もがモニターになり得るように、気軽に市議会を評価できる仕組みを整備すれば、より多くの人が関心を持つのではないか。

→ 議員) 昨年度に実施した実証実験「まちだん」には、提案内容に近い機能があったが、運用上の課題により運用には至らなかった。

○市議会モニターとして意見を出しやすくするために、個々の議員が「議会をどう位置づけ、どう機能させるか」考えを示してもらいたい。

○提出した意見が、「市議会モニターからの意見」として取り上げられることにやりがいを感じるのではないか。

市議会を傍聴、視聴して思うこと

○傍聴者が思ったよりも少なかった。また、テレビ中継は高齢のため音声聞き取りづらいので字幕がほしい。休憩時には、再開時刻も表示してほしい。

→ 議員）字幕の設置は、予算的な課題もあり実現は難しい状況である。休憩再開時刻の表示については、今後改善できるか検討していきたい。

○傍聴席から議場スクリーンに映し出される資料が見えにくく、説明箇所が分かりづらい。レーザーポインターで指し示すなどの工夫や、傍聴席へのモニター設置を検討してほしい。

→ 議員）傍聴席へのモニター設置は良い提案だが、費用面の課題があり、すぐに実現することは難しい。まずは貴重な意見として承りたい。すぐにできる対策として、議長が、議員から資料を受け取る段階で文字の大きさや分かりやすさについて助言し、説明箇所をレーザーポインターで指し示すよう促すなど、運用面での改善に努めたい。

○議場スクリーンが見えにくい。これは、他の市議会モニターからも同様の意見が出ているので、改善を期待したい。

→ 議員）資料の作り方は各議員の裁量に委ねられている。市議会モニターさんからの意見は全議員に共有しているが、それをどう受け止めるかは議員個人による。改善しない議員がいれば、次の選挙の判断材料にしてほしい。

→ 議員）自身も一般質問の際にレーザーポインターを使い忘れることがあり反省している。資料の見やすさに関する意見は重々承知しており、今後、分かりやすい資料作りに努めたい。

→ 議員）動画の使用が認められないなどの制約や、議会のシステム上、事前に投影サイズを確認できず、結果的に資料が小さく表示されてしまうことがある。議員側も試行錯誤しながら改善の努力が必要だと考えている。

○一部の議員は傍聴者にも分かりやすいよう独自に資料を配布しており、工夫次第で傍聴者への伝わり方を改善することは可能だ。多くの議員は「できない」と言い訳をしているだけで、広く市民に知らせるという意識が低いのではないか。民間企業のように、誰にでも伝わるプレゼンテーション技術を学ぶべきだ。

→ 議員）議長としても議場スクリーンが見えにくいことは認識している。議会全体で連携すべき問題と考え、議会運営委員会で議題として取り上げたい。

→ 議員）傍聴者に資料を配布するという工夫は大変参考になった。自身も議会で同様の取り組みを試みたい。

○傍聴者や視聴者には、質問の残り時間が分からない。他市議会では「あと何分」と表示されている例もあるため、改善してほしい。また、中継を見て気づいた点として、答弁者の背後に議長が映り込むため、議長の動きが気になる。

○一般質問について、事前に知らされている通告事項を目的に傍聴へ行っても、時間切れでその質問が行われないことがある。事前通告した通告事項については、持ち時間内に全て質問が終わるよう、運営を工夫してほしい。

→ 議員）質問者自身も議論が白熱すると時間を超過してしまい、予定の通告事項までたどり着け

ないことがあるため、今後は時間配分に十分注意したい。

○傍聴した際、居眠りをしているように見える議員がいて不信感を抱いた。それが勘違いであったとしても、市民に誤解を与えかねない。誤解を防ぎ、議会全体の様子が分かるように、インターネット中継のカメラワークを議場全体が見えるように工夫してはどうか。

→ 議員) 勘違いをさせてしまったのであれば申し訳ない。中継カメラは定点のため、すぐに動かすことは予算的にも難しいのが現状である。しかし、議員の姿勢が問われる重要な指摘として受け止め、この意見を全議員で共有し、気を引き締めていきたい。

○居眠りと見られるような議員の態度は、議場での緊張感が欠如していることの表れではないか。議員は公の場にふさわしい姿勢で臨むべきであり、それが市民への責任を示す形でもある。

→ 議員) 重要な指摘としてしっかり受け止め、全議員で共有していきたい。また、関連して、委員会で発言が少ない議員もいるが、正副委員長は事前にレクチャーで質疑を行っている場合があるなど、見えない部分での活動があることも理解してほしい。

○何年も同じ指摘が改善されない原因を追究してほしい。「予算がない」と言い訳するのではなく、創意工夫で市民の関心を引くべきだ。国会中継のように議場全体を映し、市民が議員の働きを判断できるような努力を期待する。

→ 議員) 指摘はもっともである。傍聴や視聴がしやすいよう、「見せ方」を工夫することは重要だと認識している。

○市議会モニターになって市議会だよりなどを熱心に読むようになり勉強にはなるが、いざ本会議を傍聴しても、議論の内容が専門的で理解が難しいと感じる。傍聴者も高齢者ばかりで数が少ない。若者の関心を引けないのは、議論が平凡で「つまらない」からではないか。大きなトラブルがないことの裏返しかもしれないが、現状のままでは市民の関心を広げるのは難しいと感じる。

市議会モニター制度について

○3年間市議会モニターを経験し、議会への理解が深まった。しかし、現在の市議会モニターの選出方法には課題がある。地区選出は、地区市民センター館長が人選していると思われるが、地域の実情を必ずしも把握しているわけではない。そこで、任期を終える市議会モニターが、地域をよく知る者として後任を推薦する方式を提案したい。そうすることで、より意欲のある適任者が選ばれ、制度の質も向上するのではないか。

○市議会モニターを経験して大変勉強になった。最近は公募で若い女性などの参加者が増えており、関心が高まっているのは良いことだ。しかし、一般の傍聴者と市議会モニターとの違いが不明確で、市議会モニターならではの特別な役割や活動がない点が課題だと感じる。若い参加者が「参加しても変わらない」と感じてしまわないよう、制度のあり方を見直す時期に来ているのではないか。例えば、女性議員と女性市議会モニターの意見交換会など、参加者がより魅力を感じるような新しい企画を検討してほしい。

→ 議員) 市議会モニター制度については、任期を最長3年に延長し公募枠を増やすなど、少しずつではあるが見直しを進めている。また、ベビーベッドや授乳スペースの設置を女性議員から提案するなど、若い方も参加しやすい環境づくりに努めている。ハード面の課題もあり、すぐに全てを改善することは難しいが、今後も着実に改革を進めていきたい。

その他

○議会報告会は報告を聞きに来ているというより、シティミーティングで何か言いたいことがある人の集まりという印象である。

市議会を傍聴・視聴して思うこと

○本会議中に居眠りしている議員が気になる。他人の話聞く気がないのか、タブレット端末やスマートフォンを見ている。悪意のある傍聴人は、盗撮してインターネット上に動画を公開するかもしれないので、自衛の意味も含めて、議員は、もっとまじめに本会議に臨むべきである。

→ 議員）申し訳ないと思う。議会内に周知したい。

○市議会中継のカメラのアングルを広げれば、居眠り議員への抑止力になるのではないか。本市の選挙の投票率は低く、若者の政治関心も薄い。SNSをする議員は少なく、人柄や実績が全く見えないので、投票先を判断するための材料が少ない。会議映像の改善で状況が改善するのではないか。

→ 議員）カメラのアングルについては、今後、検討したい。

○市からの情報発信が少なく、分からないことや苦情があったときに、自分で情報を探さなければならない。また、情報はインターネット上にしかない場合もあり、インターネットを使えない人は情報を得ることすらできない。このような苦情はどこに言えばいいのか。市の苦情窓口なのか、市議会議員なのか。

→ 議員）執行部は「広報に掲載して周知した」と答弁することが多いが、周知方法は再考する必要があると考える。また、気軽に相談できて、適切な情報を教えてくれたり、担当の窓口を案内してくれたりする総合窓口が必要であると考えます。

○議案に対する意見募集の案内を市議会モニターに送付してもらっているが、資料が少なく、何も判断できず、意見も出せない。議案は市政に必要なことから提案されるものであって、全ての議案で、ないよりはあった方がいいに決まっている。議案を上程する背景や、議決された後にどうするのが分からないので、意見の出しようがない。

→ 議員）議案上程日に広報広聴委員会で市民意見のテーマを決める。執行部は委員会審査までに詳細資料を整え提出する。その資料があれば判断しやすいが、市民への意見募集時に提供するのには物理的に難しい。ただ、より良い意見をいただくため資料提供方法を工夫したい。

○一般質問では、議員からの質問も、市の答弁も、お互いが台本を読んでいるだけなので、本会議でやる必要はないのではないかと考える。文書でやり取りするだけでいいと考える。また、台本があるのであれば、傍聴者に文字で表示してほしい。

→ 議員）聞き取りやすくゆっくり話すように工夫したい。

→ 議員）議員にもよるが、質問に必要な数値などの情報を正確に伝えるため、原稿を用意している。執行部の答弁は、一般質問で初めて聞くので、思った答弁ではない時

など、原稿と異なる質問となり、完全に台本どおりというわけではない。

○市議会モニターになって、自分の周囲が市政に関心を持ったり、選挙に行くようになった。もっと多くの市民や若い世代が政治に関心を持てる集まりや、仕組みを作ることが必要ではないか。

→ 議員) もっと市民に開かれた議会にしたい。

○一般質問を傍聴して、市の施策に対して自分の意見を言いたい場合、市議会モニターであっても、議員を通じて市に意見を伝えることしか手段がないのか。

→ 議員) 市議会モニターだからというわけではなく、一般的に議員に意見を伝えて、その議員から市に意見を伝えることになる。市議会モニターは、一般の市民よりも市議会に近い存在なので、様々な意見をもらうことはありがたいことである。

○市議会だよりが文字ばかりで読みづらく、読む人も少ないのではないか。もっと要約して内容を短くするか、テーマごとに 30 秒程度のショート動画にまとめれば、見る人が増えるのではないか。

○市の問い合わせ窓口が市のホームページに掲載されているが、ページが古くて現在も機能しているか疑問があり、市民が問い合わせたいときに困る。AIチャットボットを活用して問い合わせ窓口を集約する手段は有効だと思う。

→ 議員) 他の自治体では総合窓口を設けているところもあるので、本市にも提案していきたい。

○市のアプリやLINE公式アカウントにAIを導入すれば、市民から意見を聞きやすくなり、市もより効果的に情報発信がしやすくなる。一般質問の内容や議会の資料を公開しているが、内容が難しく理解しにくい。高校生でもわかる内容で提供すれば読みやすくなり、市民参加が促進されるのではないか。最後に、議員が定期的に地域で座談会を開けば、市民も議員に対して意見を言いやすく、また、地域のコミュニティ形成にも有効だと思う。

→ 議員) 地域で市政報告会を行っている議員もいるが、それを開催していることを知っている人が少ないので、広報の仕方を工夫したい。

○議会報告会やシティ・ミーティングの広報が足りていない。周囲の人に聞くと、その存在を知らないことが多いので、広報の方法を工夫してほしい。

→ 議員) 参加者の減少が非常に問題になっている。広報や開催方法を工夫したい。

市議会モニター制度について

○市議会モニターの立ち位置や意義が分からない。地域から苦情を集めて、市の執行部や市議会議員に伝えることが職務なのか。この意見交換会も、そのような個別の事案を市議会議員に伝える機会なのか。

→ 議員) この意見交換会は、市議会に関するご意見をいただく場所である。

→ 議員) 過去にも同様の意見が出され、議会内でも市議会モニターの役割について議論が行われた際に、市議会モニターから議会運営だけでなく、市政に対する意見も求めているかどうかという提案があった。今回、いただいた意見も踏まえて、さらに検討を進めていきたい。

○市議会モニター制度の知名度に疑問を感じる。会社で社外活動を聞かれた際、市議会モニターと答えたところ、市議会議員と誤解されて説明に苦労した。既に広報されているのかもしれないが、市議会はこの制度をもっと広めてほしいと思う。

→ 議員) 広報よっかいちや市議会だよりで広報しているが、方法を工夫したい。また、市議会モニターから「やってみて良かった」という声を聞くので、市議会モニターも活動を発信することで興味を持つ人も増えると思う。

○市議会モニターをたくさんの人に経験してもらった方がいいと思う。選挙人名簿からランダムで選ぶことはできないのか。

→ 議員) 制度的な課題があるほか、それぞれの家庭の事情があるため難しいと考える。そのため、希望者から申し込んでいただく公募制を採っている。また、地区推薦枠を設けることにより、特定の地域に偏った意見が集まることないように配慮している。

○地区推薦と言うが、地域から何か要望されたことはなく、地域に対して市議会モニターをしたことで得られた情報を返したこともない。自分は勉強になっているが、それでいいのか。

○市議会モニターの委嘱式、勉強会や今回の意見交換会の案内が遅い。開催の1か月前に連絡をもらっても、都合がつかない人も多い。余裕をもった案内をしてほしい。

→ 事務局) おおまかなスケジュールは委嘱式でご案内しているが、行事の開催日を決定するのは、市議会の議事日程が決まってからになる。当市議会は通年議会を採用しており、突然、議事が入ることもあるため、決定とご連絡が遅くなり、申し訳ない。